

5 令和2年度主要な事業（一般会計）

（1）新規事業（※令和元年度補正予算において新規事業として計上した事業）

オリンピック聖火リレー実施事業	3,320千円
庁舎給排水設備更新事業	5,749千円
鶴ヶ島駅周辺地区拠点整備構想策定事業	11,308千円
女性センター施設改修事業	2,305千円
大橋市民センター排水設備復旧事業※	22,227千円
西市民センター空調更新事業※	114,594千円
住民異動等窓口業務委託事業	12,760千円
障害者支援計画策定事業	1,048千円
母子生活支援施設等入所委託事業	5,460千円
学童保育室建設事業（藤小学校区）※	51,326千円
小規模保育整備事業	18,333千円
幼児教育・保育の無償化運営支援事業※	280,020千円
児童館トイレ改修事業	4,136千円
森林環境基金積立金※	4,131千円
都市農業活性化推進事業	3,590千円
地域経済応援事業	2,750千円
雨乞いのまち鶴ヶ島活性化事業	5,620千円
藤金地区都市計画変更事業	2,079千円
太田ヶ谷緑地保全事業	58,321千円
学校法務相談等体制整備事業	600千円
オリンピック・パラリンピック学校連携観戦プログラム実施事業	452千円
小学校体育館LED照明導入事業	6,955千円
中学校トイレ改修事業※	181,806千円
中学校体育館LED照明導入事業※	33,785千円
中学校英語技能検定取得推進事業	2,371千円
脚折雨乞支援事業	11,348千円

(2) 拡充事業

人事給与管理事業	182,173千円
行政システム管理事業	175,427千円
庁舎エレベーター更新事業	66,025千円
戸籍・住民基本台帳管理運営事業	66,167千円
周期統計調査経費	31,914千円
地域福祉推進事業	2,231千円
生活困窮者等自立支援事業	48,269千円
障害者支援体制整備事業	8,255千円
ひとり親家庭等自立支援事業	13,074千円
児童・家庭総合相談支援事業	15,840千円
民間保育所運営支援事業	1,147,312千円
認定こども園等運営支援事業	172,363千円
地域型保育事業	232,608千円
幼稚園運営支援事業	5,375千円
地域医療体制整備事業	28,062千円
健康長寿推進事業	6,945千円
感染症予防対策事業	190,385千円
5R推進事業	670千円
農業交流センター運営事業	26,588千円
道水路整備事業	231,770千円
放置自転車防止対策・リサイクル事業	6,534千円
市内公共交通運行事業	86,857千円
災害対策事業	11,438千円
地域とともにある学校づくり事業	3,239千円
学び合い学習推進事業	873千円
小学校校務情報化推進事業	22,575千円
小学校施設管理事業	83,430千円
小学校教育振興事業	45,069千円

小学校情報教育推進事業	24,458千円
小学校教育支援体制整備事業	4,624千円
中学校校務情報化推進事業	14,491千円
中学校情報教育推進事業	14,398千円
中学校教育支援体制整備事業	2,890千円
文化財保護保存事業	22,101千円

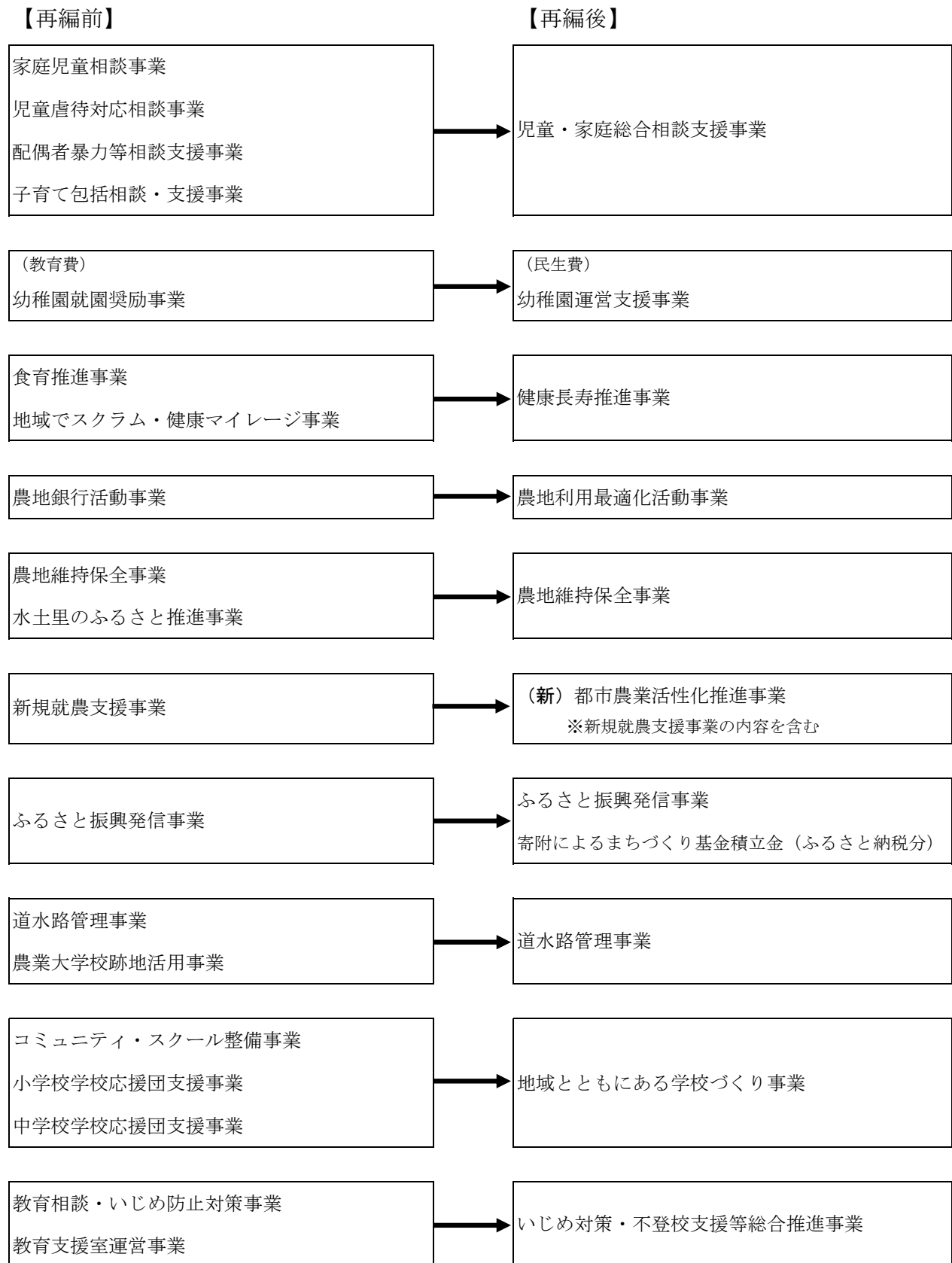
(3) 終了事業

	前年度当初予算額
シティプロモーション推進事業	2,102千円
庁舎空調更新事業	121,142千円
立地適正化計画策定事業	6,897千円
子ども・子育て支援事業計画策定事業	1,573千円
学童保育室建設事業（南小学校区）	46,683千円
家庭保育室運営支援事業	1,062千円
都市農業振興計画策定事業	81千円
特産品づくり推進事業	100千円
農業体験事業	85千円
五味ヶ谷地区地区計画住環境整備事業	17,423千円

(4) 休止事業

	前年度当初予算額
参議院議員選挙執行経費	27,010千円
県知事選挙執行経費	19,822千円
県議会議員選挙執行経費	11,658千円
市議会議員選挙執行経費	36,534千円
戦没者追悼式事業	418千円
企業立地雇用等促進奨励事業	1,000千円
企業立地推進事業	4,375千円
社会科副読本改訂事業	4,106千円

(5) 予算事業の再編等



【再編前】

小中一貫教育推進事業
学び合い学習推進事業



【再編後】

学び合い学習推進事業

小学校教育系 I C T 環境整備事業



小学校情報教育推進事業

中学校教育系 I C T 環境整備事業



中学校情報教育推進事業

外部指導者設置事業
運動部活動指導員活用事業



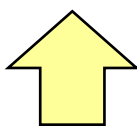
部活動支援事業

(6) 分野別の主要事業

市の将来像の実現に向け、7つの政策分野（まちづくりの方向性）に沿って、各施策を進めていきます。

<市の将来像>

しあわせ共感 安心のまち つるがしま

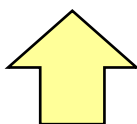


<重点戦略（まち・ひと・しごと創生総合戦略）>

子どもに
やさしい
まちづくり

いつまでも
健康でいられる
まちづくり

多様な働き方が
実現できる
まちづくり



<まちづくりの方向性（政策1～7）>

政策 1

安心して
暮らせる
まち
(福祉)

政策 2

豊かな
人が育つ
まち
(教育・文化)

政策 3

いきいきと
暮らせる
まち
(保健)

政策 4

活力に
あふれる
まち
(市民生活)

政策 5

魅力と
にぎわいの
あるまち
(産業・環境)

政策 6

快適で
住みよい
まち
(都市整備)

政策 7 経営的視点に立った市政運営（市政運営）

(新) : 令和2年度新規事業

(新※) : 令和元年度補正予算において新規事業として計上した事業

政策 1 安心して暮らせるまち (福祉)

市民誰もが、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちをつくります。

1 生活困窮者等自立支援事業

予算額 48,269 千円

生活保護に至る前の段階にある生活困窮者及び生活保護受給者に対し、自立相談支援、就労支援、就労準備支援、学習支援、家計改善支援、アウトリーチ等による社会参加支援等を行い、困窮状態からの脱却と自立を図ります。

《福祉政策課》

2 (新) 障害者支援計画策定事業

予算額 1,048 千円

障害者施策の基本的事項を定める「障害者プラン」、障害者(児)支援の提供体制の確保や、サービス種類ごとの必要見込量を定める「障害福祉計画」、「障害児福祉計画」を一体とする「第4期障害者支援計画」を策定し、今後の障害者施策を推進します。

《障害者福祉課》

3 児童・家庭総合相談支援事業

予算額 15,840 千円

鶴ヶ島版ネウボラ、家庭児童相談室、児童虐待対応相談、女性相談、DV相談、育児支援事業といった相談支援事業を統合することにより、子どもや子育て家庭への包括的な相談支援体制の構築を進めます。

《こども支援課》

4 (新) 母子生活支援施設等入所委託事業

予算額 5,460 千円

さまざまな事情を持つ母子の保護及びその自立の促進と退所後の相談支援を行う母子生活支援施設等へ母子の保護を委託し、子どもの安全な養育環境の構築と母子の自立に向けた支援を進めます。

《こども支援課》

5 (新*) 学童保育室建設事業(藤小学校区)

予算額 51,326 千円

放課後の児童の健全な育成を推進するため、藤小学校敷地内に学童保育室を1棟新設し、学童保育室の運営規模の適正化を図ります。

また、藤小学校の隣地にある既存の学童保育施設については、新設にあわせて閉鎖・解体するとともに借地を返還します。

《こども支援課》

6 (新) 小規模保育整備事業

低年齢児を中心とした待機児童対策を行うため、富士見地区内にある既存建築物を改修し、小規模保育施設を1施設増設します。改修整備に係る経費の一部を補助し、子育て環境の充実を図ります。

《こども支援課》

予算額 18,333 千円



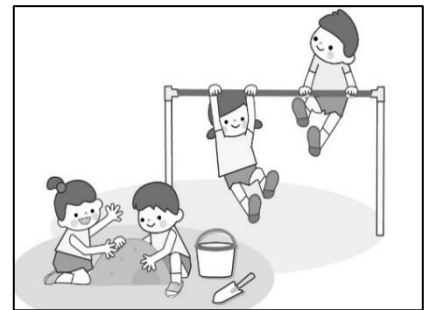
▲施設のイメージ図

7 (新※) 幼児教育・保育の無償化運営支援事業

幼児教育・保育の無償化の対象児童のうち、幼稚園、認可外保育施設等に在園する児童の施設利用料について、国が定める上限額の範囲内で無償化し、子育て世帯の経済的支援を図ります。

《こども支援課》

予算額 280,020 千円



8 幼稚園運営支援事業

市内幼稚園5施設に対し、運営に関する経費の一部を補助することにより、幼児教育の充実と振興を図ります。

また、就学前の教育体制を強化するために、施設に対し、市が単独で補助を行い、幼稚園教諭の安定した雇用の確保を図ります。

《こども支援課》

予算額 5,375 千円

9 (新) 児童館トイレ改修事業

市内児童館のうち、和式トイレのみが設置されている脚折児童館と大橋児童館のトイレの一部を洋式化します。また、子ども用便座の整備など、トイレ環境を改善することで、利用者の利便性向上を図ります。

《こども支援課》

予算額 4,136 千円



▲子ども用便座

政策 2 豊かな人が育つまち (教育・文化)

地域が一体となって、未来を担う子どもたちを育み、生涯を通じた学習・文化・スポーツ活動を促進し、豊かな人が育つまちをつくります。

1 地域とともにある学校づくり事業

予算額 3,239 千円

保護者及び地域住民等の学校運営への参画や支援・協力を促進することにより、学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係を深め、学校運営の改善及び児童生徒の健全育成に取り組みます。

《学校教育課》

2 (新) 学校法務相談等体制整備事業

予算額 600 千円

市内小・中学校における諸問題に対し、弁護士による専門的な助言及び指導を受けることで、事故等の未然防止及び諸問題の適切かつ迅速な対処が行える体制をつくり、円滑な解決等を図ります。

《学校教育課》

3 (新) オリンピック・パラリンピック学校 連携観戦プログラム実施事業

予算額 452 千円

東京2020オリンピック・パラリンピックにおいて、国が対象都道府県に提供する特別価格のチケットを活用し、部活動等の教育活動の一環として観戦の機会を提供します。

《教育センター》

4 小・中学校校務情報化推進事業

予算額 37,066 千円

教員1人1台の校務用パソコンで校務支援システムの活用を推進し、校務の効率化を図りながら、教材研究や児童生徒と向き合う時間の確保等を図ります。

《学校教育課》

小学校費	22,575 千円
中学校費	14,491 千円

5 小・中学校情報教育推進事業

予算額 38,856 千円

新学習指導要領に基づきICT機器を活用した授業を実施し、児童・生徒の情報活用能力を育成します。

《学校教育課》

小学校費	24,458 千円
中学校費	14,398 千円

6 (新*) 小・中学校体育館LED照明導入事業

全小学校及び藤中学校を除く4中学校の体育館照明をLED化する設計及び工事を行い、児童・生徒の学習環境の向上を図ります。

《教育総務課》

予算額 40,740 千円

小学校費 6,955 千円
中学校費 33,785 千円

7 (新*) 中学校トイレ改修事業

全中学校校舎のトイレの床を湿式から乾式に改修し、和式便器の洋式化や車いす対応便器を設置するなどトイレの改修工事を実施し、生徒が快適な学校生活を送れるように努めます。

《教育総務課》

予算額 181,806 千円



▲車いす対応便器設置イメージ

8 (新) 中学校英語技能検定取得推進事業

グローバル化に対応した英語教育を推進し、英語で自分の考えを伝えられる高いコミュニケーション能力を持つ生徒を育成するため、実用英語技能検定の検定料を助成し、生徒の英語力及び学習意欲の向上を図ります。

《学校教育課》

予算額 2,371 千円

9 文化財保護保存事業

市内指定文化財の保護保存、埋蔵文化財発掘調査及び文化財整理室の維持管理を行います。また、高倉獅子舞保存会・脚折雨乞行事保存会の活動を支援します。

《生涯学習スポーツ課》

予算額 22,101 千円

10 (新) 脚折雨乞支援事業

国選択無形民俗文化財、市指定無形文化財である「脚折雨乞」の4年に1度の開催に合わせ、「脚折雨乞」の魅力や意義を市内外にPRするとともに、指定文化財「脚折雨乞」の保護保存及び後世への継承支援を行います。

《生涯学習スポーツ課》

予算額 11,348 千円



▲脚折雨乞の様子

政策3 いきいきと暮らせるまち (保健)

子どもから高齢者までのすべての市民が、健康でいきいきと暮らせるまちをつくりまします。

1 地域医療体制整備事業

予算額 28,062 千円

市民が身近なところでいつでも適切な医療が受けられるよう、初期救急医療、第二次救急医療等の地域医療体制等の充実を図ります。超高齢化社会における医療ニーズへの対応及び安定的な救急医療の確保を図るため、市内の二次救急医療機関に対し、救急搬送患者の受け入れに要する費用の一部を補助します。

《保健センター》

2 健康長寿推進事業

予算額 33,924 千円

一般会計、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計の健康長寿推進事業で、高齢者の保健事業と介護予防・フレイル対策を一体的に推進し、健康寿命の延伸を図ります。

《高齢者福祉課》

《健康増進課》

一般会計	6,945 千円
(新)国民健康保険特別会計	1,723 千円
介護保険特別会計	25,256 千円

3 感染症予防対策事業

予算額 190,385 千円

予防接種法に基づく予防接種を実施し、感染症の発症及び拡大を未然に防止することで、市民の健康維持を図ります。

風しんの追加的対策として、特に抗体価が低い年齢層の男性に対する抗体検査及び予防接種を継続して実施するとともに、乳児へのロタウイルス感染症のワクチン接種を新たに定期接種として実施します。

また、骨髄移植等により既存の抗体を消失し、再接種が必要となった場合、その費用を助成します。

《保健センター》

政策4 活力にあふれるまち (市民生活)

多様な人びとがつながり、誰もが活躍できる、市民参加による活力あふれるまちをつくります。

1 オリンピック・パラリンピック推進事業

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催にあわせて、市民の関心を高め、大会機運を醸成するとともに、ミャンマーのホストタウンとして親交を深めながら、継続的な市民主体の交流につなげます。

《オリンピック・パラリンピックプロジェクトチーム》

予算額 3,389 千円



▲本市出身選手による講演会

2 (新) オリンピック聖火リレー実施事業

埼玉県など関係機関と連携しながら、東京2020オリンピック聖火リレーを円滑に実施し、大会機運を醸成します。

《オリンピック・パラリンピックプロジェクトチーム》

予算額 3,320 千円



画像提供：Tokyo 2020

▲聖火リレーのトーチ

3 コミュニティ活動推進事業

自治会活動に必要な施設・備品などの環境整備や、自治会活動への加入啓発活動を支援することで、市民のコミュニティ活動への参加を促進します。

《地域活動推進課》

予算額 28,910 千円



▲自治会夏祭りの様子

4 (新※) 西市民センター空調更新事業

予算額 114,594 千円

複合施設である西市民センターの空調設備は、設置から17年が経過し、空調の冷房機能が低下しているため、施設利用者の健康面等を考慮し、更新工事を実施します。

《西市民センター》



▲現在の空調設備エンジン

5 災害対策事業

予算額 11,438 千円

埼玉県では、市町村や消防署、医療機関などに設置している地上系防災行政無線の老朽化に伴い、平成29年度から令和2年度までの4か年計画で再整備を実施しています。

本市においても県防災行政無線が設置されており、令和2年度に県が再整備工事を行うことから、工事費の2分の1を市が負担するものです。

この機器更新により防災情報の収集・伝達手段の強化を図ることで、防災関係機関との連携・協力体制を整備します。

《安心安全推進課》

6 防災行政無線デジタル化推進事業

予算額 85,830 千円

平成30年度から令和2年度までの3か年で、アナログ方式からデジタル方式に移行する工事を順次進めています。工事最終年度となる令和2年度は、子局25局を更新します。

《安心安全推進課》



▲防災行政無線子局

政策5 魅力とにぎわいのあるまち (産業・環境)

自然との調和をとりながら地域資源の活用・創出を図り、市に関わるすべての人が魅力とにぎわいを感じるまちをつくります。

1 5R推進事業

ごみの減量・資源循環を推進するため、市民団体等と連携し、より一層の普及・啓発活動を展開し、生ごみの減量に向け、生ごみ処理器「キエーロ」の普及・啓発を行います。

《生活環境課》

予算額 670 千円



▲「キエーロ」

2 (新) 都市農業活性化推進事業

新たな担い手となる新規就農者への支援を図るとともに、付加価値の高い農産物の生産を促進します。また消費地に近いという利点を活かした観光農業の推進を図り、農業の持続的発展を目指します。

《産業振興課》

予算額 3,590 千円



▲観光農園でのいちご狩りの様子

3 農業交流センター運営事業

農業交流センターの多様化する市民ニーズに効果的、効率的に対応するため、管理運営を指定管理者に委託することにより、民間のノウハウを活用し市民サービスの向上を図ります。

《産業振興課》

予算額 26,588 千円



▲農業交流センター研修棟

4 ふるさと振興発信事業

ふるさと納税制度を積極的に活用することにより、鶴ヶ島の魅力や地域資源を広くPRし、シティプロモーションの推進を図ります。

また、ふるさと納税の記念品として市内事業者を中心としたパートナー企業の商品を利用することで地域経済の活性化を図ります。

《産業振興課》

予算額 109,502 千円



▲ふるさと納税大感謝祭の様子
(パシフィコ横浜)

5 (新) 雨乞いのまち鶴ヶ島活性化事業

鶴ヶ島の地域資源である脚折雨乞を核とした住民主体のまちづくりや地域の活性化を目指すとともに、郷土意識の醸成及び地域産業の振興を図ります。

《産業振興課》

予算額 5,620 千円



▲脚折雨乞の様子

政策6 快適で住みよいまち (都市整備)

生活の質を高める都市基盤の整備や維持管理を計画的に行うことにより、快適で住みよいまちをつくります。

1 (新) 鶴ヶ島駅周辺地区拠点整備構想策定事業

予算額 11,308 千円

人々の交流と地域の魅力の創出に向けて、市内企業と連携した拠点整備及び鶴ヶ島駅周辺地区整備の構想を、令和2年度から3年度までの2年間で策定するものです。

産学官連携を図りながら、整備構想を策定し、その構想を基に都市再生整備計画を一体で策定します。

《政策推進課》

2 道水路整備事業

道路改築工事や歩道整備工事を実施することにより、交通の安全と通行の円滑化を図ります。

《道路建設課》

予算額 231,770 千円



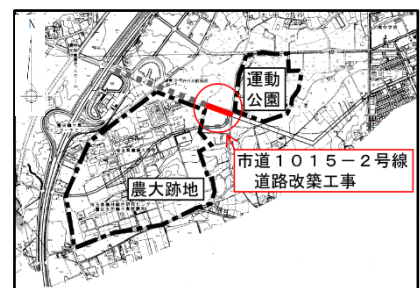
▲道路整備箇所

3 都市計画道路整備事業

埼玉県による圏央鶴ヶ島インターチェンジ東側土地区画整理事業と連動した都市計画道路の整備により土地活用の促進及び円滑な道路網の確保を図ります。

《道路建設課》

予算額 88,691 千円



▲都市計画道路整備箇所

4 (新) 藤金地区都市計画変更事業

藤金土地区画整理事業について、地権者や地域住民の意見を聴きながら見直しを行い、藤金地区のまちづくりに向けて、関連する都市計画の変更等を行います。

《都市計画課》

予算額 2,079 千円



▲事業対象位置図

5 市内公共交通運行事業

高齢者、障害者、交通手段を持たない方など、いわゆる交通弱者の市内の移動手段を確保するほか、通勤や通学、買い物などにも利用できる市内公共交通機関（つるバス・つるワゴン）を確保します。新たに令和2年度は、子育て支援のため、未就学児を同伴する保護者の運賃の無料化を図ります。

《こども支援課》

《都市計画課》

予算額 86,857 千円



▲つるバス・つるワゴン

6 (新) 太田ヶ谷緑地保全事業

圏央鶴ヶ島インターチェンジ東側土地区画整理事業により整備される緑地が、令和2年度に市に移管される予定のため、必要な整備（トイレやベンチ、看板の設置）を行います。

《都市施設保全課》

予算額 58,321 千円



▲緑地予定地

政策 7 経営的視点に立った市政運営（市政運営）

市の経営資源を最大限活用し、“顔”が見える市役所として市民満足度・職員満足度の向上を図り、市民サービスの最大化を目指します。

1 行政システム管理事業

データの有効活用等により、スマートな市政運営を推進するため、AIによる音声認識システム導入や、タブレット端末活用の研究等を進めます。

《情報推進課》

予算額 175,427 千円



▲音声認識システムを利用した議事録作成のイメージ

2 庁舎エレベーター更新事業

「鶴ヶ島市公共施設保全計画」に基づき、令和元年度に設計業務を行った来庁者用エレベーター1基及び業務用エレベーターの更新工事を行います。

《資産管理課》

予算額 66,025 千円



▲庁舎来庁者用エレベーター

3 （新）住民異動等窓口業務委託事業

行政サービスの維持・向上及び市の業務効率化を図るため、市民課の住民異動、証明発行等の窓口業務委託を令和2年12月1日から実施します。

《市民課》

予算額 12,760 千円



▲市民課窓口の様子

(7) ふるさと納税充当事業

ふるさと納税制度による寄附金は、寄附によるまちづくり条例に基づき、寄附によるまちづくり基金に積立て、令和2年度当初予算において寄附者の意向を反映した事業に充当します。

【令和2年度予算への充当額は187,433千円】

※クラウドファンディング分1,433千円含む。

《令和2年度主な充当事業》

継続 小・中学校国際性を育む教育推進事業 [学校教育課]

【1 未来を担う子どもたちを応援する事業】

○小学校国際性を育む教育推進事業

[充当額 9,000千円]

○中学校国際性を育む教育推進事業

[充当額 8,000千円]

小・中学校へ外国語指導助手を配置し、担任の支援や外国語活動の充実を図り、外国語教育を進めることにより、子どもたちの異文化への理解や異文化コミュニケーション能力を高めます。



▲外国語指導助手による講座の様子

継続 地域支え合い推進事業 [地域活動推進課]

【2 地域で支え合う健康・福祉のまちづくりのための事業】

○地域支え合い推進事業 [充当額 4,000千円]

地域住民が、NPO法人等の市民活動団体、企業等との連携・協力により、日常の暮らしの中で共に支え合い、助け合いながら、地域の課題を地域で解決する仕組みづくりを支援します。



▲すねおり地域支え合い協議会設立総会の様子

継続 公園管理事業 [都市施設保全課]

【3 身近な緑の保全と地球温暖化防止のための事業】

○公園管理事業 [充当額 13,000 千円]

策定済みの公園施設長寿命化計画及び年1回の定期点検における点検結果に基づき、公園遊具の修繕を行います。



▲公園遊具

新規 脚折雨乞支援事業 [生涯学習スポーツ課]

【4 文化・芸術を振興するための事業】

○脚折雨乞支援事業 [充当額 1,433 千円]

国選択無形民俗文化財、市指定無形文化財である「脚折雨乞」の4年に1度の開催に合わせ、「脚折雨乞」の魅力や意義を市内外にPRするとともに、指定文化財「脚折雨乞」の保護保存及び後世への継承支援を行います。



▲脚折雨乞の様子

継続 産業活力振興事業 [産業振興課]

【5 活かに満ちたまちづくりのための事業】

○産業活力振興事業 [充当額 3,200 千円]

桜まつり、サマーカーニバル、産業まつりの開催に対する補助を行い、地域住民のコミュニケーションの場を創出し郷土意識の醸成と地域経済の活性化を図ります。



▲産業まつりの様子

《令和2年度充当事業一覧（一部抜粋）》

- 1 未来を担う子どもたちを応援する事業 充当総額 102,000 千円
 - 民間保育所運営支援事業〔こども支援課〕
 - 認定こども園等運営支援事業〔こども支援課〕
 - 地域型保育事業〔こども支援課〕
 - 特別支援教育推進事業〔教育センター〕
 - 小学校情報教育推進事業〔学校教育課〕
 - 中学校情報教育推進事業〔学校教育課〕 等

- 2 地域で支え合う健康・福祉のまちづくりのための事業 充当総額 13,000 千円
 - 市民協働推進事業〔地域活動推進課〕
 - 地域支え合い推進事業〔地域活動推進課〕（再掲）
 - つるがしま中央交流センター運営支援事業〔地域活動推進課〕
 - 健康長寿推進事業〔健康増進課〕
 - 市民スポーツ行事開催事業〔生涯学習スポーツ課〕

- 3 身近な緑の保全と地球温暖化防止のための事業 充当総額 33,000 千円
 - 太田ヶ谷緑地保全事業〔都市施設保全課〕
 - 小学校体育館LED照明導入事業〔教育総務課〕
 - 中学校体育館LED照明導入事業〔教育総務課〕 等

- 4 文化・芸術を振興するための事業 充当総額 13,433 千円
 - 図書館運営事業〔生涯学習スポーツ課〕
 - 文化財保護保存事業〔生涯学習スポーツ課〕
 - 脚折雨乞支援事業〔生涯学習スポーツ課〕（再掲）

- 5 活気に満ちたまちづくりのための事業 充当総額 24,000 千円
 - コミュニティ活動推進事業〔地域活動推進課〕
 - シルバー人材センター活動支援事業〔高齢者福祉課〕
 - 商工団体運営支援事業〔産業振興課〕
 - 産業活力振興事業〔産業振興課〕（再掲）

■ 充当状況の報告について

寄附金の充当状況は、寄附によるまちづくり条例に基づき、年度終了後3か月以内に「鶴ヶ島市寄附によるまちづくり基金等運用状況報告書」において報告します。